

第7次青森県保健医療計画(がん対策)及び第三期青森県がん対策推進計画の評価について

資料2

番号	項目	SPO	目標項目	出典	策定時	現状値	目標値	評価	第7次計画における取組状況	第8次計画における現状と課題			
1	がんの予防	O	年齢調整罹患率(人口10万対)	全国がん登録	[H25年]	[R元年]				<ul style="list-style-type: none"> 「青森県がん情報サービス」を開設し、がん患者体験談の掲載等、がんに関して広く参考となる情報を提供するなど、予防のための普及啓発を実施した。 県健康増進計画に基づき、身体活動及び運動習慣定着のきっかけづくりや、飲酒、食生活の改善等に関する健康づくりへの関心を高める取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん(男性)の罹患率はわずかに改善したものの、その他は悪化している。 引き続き、がん罹患率低減のため、健康に関する知識の向上を図るほか、喫煙・受動喫煙防止、飲酒、身体活動や運動習慣、食生活の改善等に関する取組を継続することが必要である。 		
					胃がん	胃がん							
					男性 73.7	男性 72.7	減少	目標達成					
					女性 25.4	女性 25.9	減少	悪化					
					大腸がん	大腸がん							
					男性 74.9	男性 93.9	減少	悪化					
					女性 42.1	女性 53.6	減少	悪化					
					肺がん	肺がん							
男性 66.3	男性 66.9	減少	悪化										
女性 20.3	女性 23.9	減少	悪化										
乳がん	乳がん												
84.2	104.5	減少	悪化										
子宮がん	子宮がん												
27.6	37.2	減少	悪化										
2	がんの予防	P	成人喫煙率	青森県県民健康・栄養調査	[H28年度]	[R4年度]			<ul style="list-style-type: none"> 各種広報媒体を活用し、喫煙が健康に及ぼす影響に関する知識の普及啓発を実施した。 禁煙週間に合わせ、関係機関と連携した広報を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙率は高止まりで悪化傾向にあり、目標に及んでいない。 喫煙に係る本県の現状や喫煙が健康に及ぼす影響についての知識の普及啓発等の取組が引き続き必要である。 			
					男性 34.9%	男性 35.4%	23%以下	悪化					
					女性 11.5%	女性 12.0%	5%以下	悪化					
3	がんの予防	P	未成年者の喫煙率	青森県児童生徒の喫煙等状況調査	[H27年度]	[R元年度]			<ul style="list-style-type: none"> 喫煙が健康に及ぼす影響についての知識の普及啓発を図るため、指導要領に基づく防煙教室の開催など、学校や家庭と一体となった取組を実施した。 児童生徒の喫煙等状況調査の実施による現状把握や、未成年者喫煙防止対策検討会での協議により、未成年者をとりまく環境の改善を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学1年(女性)は0%で目標達成し、高校3年(男性)は改善傾向にあるものの、中学1年(男性)は横ばい、高校3年(女子)はわずかに悪化している。 近年のたばこ販売環境の変化等により未成年者の喫煙率の低下は顕著であり、指標として評価するに値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してもよいものと考ええる。 			
					中学1年生	中学1年生							
					男性 0.2%	男性 0.2%	0%	変化なし(目標未達成)					
					女性 0.2%	女性 0.0%	0%	目標達成					
					高校3年生	高校3年生							
					男性 1.1%	男性 0.9%	0%	目標に達しないが改善					
女性 0.3%	女性 0.7%	0%	悪化										

番号	項目	S P O	目標項目	出典	策定時	現状値	目標値	評価	第7次計画における 取組状況	第8次計画における 現状と課題
4		P	妊婦の喫煙率	青森県 妊婦連絡票	[H28年度] 2.9%	[R4年度] 1.6%	0%	目標に達しないが改善	・喫煙が健康に及ぼす影響の普及啓発のため、妊娠時の保健相談等の機会に禁煙に関する助言や情報提供を実施した。	・喫煙率は改善傾向にあるが、目標値には達していない。 ・引き続き、市町村や産科医療機関による丁寧な保健指導の継続と、家族も含め、喫煙が自身の健康や胎児・乳児に及ぼす影響に関する知識を普及啓発することが必要である。
5	がんの 予防	S	受動喫煙防止対策 (施設内禁煙)を実施 している施設の割合	青森県 受動喫煙防止 対策実施 状況調査	[H27年度] 県庁舎 83.3% 市町村庁舎 64.1% 文化施設 91.7% 教育・保育施設 97.7% 医療機関 86.6% 事業所(50人以上) 30.4% 事業所(50人未満) 41.7%	[R3年度] 県庁舎 100.0% 市町村庁舎 100.0% 文化施設 (R元年度) 96.6% 教育・保育施設 99.4% 医療機関 99.3% 事業所(50人以上) 60.0% 事業所(50人未満) 69.1%	100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%	目標達成 目標達成 目標に達しないが改善 目標に達しないが改善 目標に達しないが改善 目標に達しないが改善 目標に達しないが改善	・県民だよりやリーフレット・ポスター、テレビCM等による受動喫煙防止に係る啓発を実施した。 ・県民、事業者向けセミナー等による受動喫煙防止に係る知識の普及啓発を行った。 ・青森県受動喫煙等対策検討会を設置し、受動喫煙防止対策の検討を行った。 ・青森県受動喫煙防止条例を制定し、受動喫煙防止対策を強化した。 ・法や条例についての県民や事業者の理解が深まるよう、各種広報を行ったほか、市町村等と連携した働きかけを実施した。	・全ての施設種別において受動喫煙防止対策の実施状況は改善している。 ・県庁舎及び市町村庁舎では目標を達成しているが、その他の施設は目標に達していない。 ・受動喫煙を生じさせない環境づくりのため、健康増進法や県受動喫煙防止条例の内容について、県民や事業者に対し、より一層浸透させるための啓発など、受動喫煙防止に向けた取組を推進することが必要である。 ・県庁舎及び市町村庁舎についてはモニタリング終了とする。
6		P	野菜と果物の摂取量	青森県 県民健康・ 栄養調査	[H29年度] 野菜摂取量の平均値 (20歳以上) 300グラム [H22年度] 果物摂取量 100グラム未満の者の 割合 56.5%	[R4年度] 野菜摂取量の平均値 (20歳以上) 278.2グラム [R4年度] 果物摂取量 100グラム未満の者の 割合 64.1%	350グラム 28%	悪化 悪化	・バランスの良い食事等の啓発を広く展開するなど、野菜・果物摂取量の増加等に向けた健康づくりの取組を実施した。	・野菜及び果物の摂取量はいずれも悪化した。 ・物価高騰などにより、野菜や果物の購入に影響があった可能性があり、バランスの良い食事の普及等、さらなる取組が必要である。

番号	項目	S P O	目標項目	出典	策定時	現状値	目標値	評価	第7次計画における 取組状況	第8次計画における 現状と課題		
11	がん 精密検査 受診率	P	市町村 がん精密検査 受診率 ※胃がんは胃部X線検査の受診者を対象	地域保健・健康増進事業報告(厚労省)	[H26年度]	[R2年度](R5公表)						
					胃がん	胃がん	79.6%	80.8%	90%以上	目標に達しないが改善	<ul style="list-style-type: none"> 科学的根拠に基づくがん検診受診の必要性や、早期発見・早期治療の観点からも精密検査の受診が重要であることについて普及啓発を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 精密検査受診率は胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんが改善傾向にあり、肺がんと乳がんでは目標を達成している。 大腸がんは悪化傾向にあり、コロナ禍による受診控えの影響があった可能性があるため、受診を促進する取組が必要である。 さらなる受診率の向上のため、精密検査が必要とされた場合は必ず受診するよう勧奨していくことが必要である。
					大腸がん	大腸がん	76.9%	72.8%	90%以上	悪化		
					肺がん	肺がん	85.0%	91.2%	90%以上	目標達成		
					乳がん	乳がん	90.8%	92.1%	90%以上	目標達成		
子宮頸がん	子宮頸がん	83.3%	83.5%	90%以上	目標に達しないが改善							
12	がんの 早期発見	S	精度管理・事業評価実施割合 ※「事業評価のための市町村チェックリスト(集団検診分)」の項目を8割以上実施しているとした市町村の割合	事業評価のためのチェックリスト回答状況	[H28年度]	[R4年度]						
					胃がん	胃がん	25.0%	85.0%	100%	目標に達しないが改善	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病検診管理指導協議会の活用等により、検診実施団体ごとの検診の質のばらつきを解消を図った。 市町村職員等を対象としたがん検診精度管理研修会を開催し、科学的根拠に基づく検診の実施や精度管理の向上が図られた。(H26～R1 計600人程度参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのがん種で改善傾向にあり、精度管理の向上に向けた取組が進められている。 検診の質の確保のため、検診実施機関等における有効で効果的な検診のための体制整備や技術水準の確保を推進する。
					大腸がん	大腸がん	25.0%	85.0%	100%	目標に達しないが改善		
					肺がん	肺がん	25.0%	85.0%	100%	目標に達しないが改善		
					乳がん	乳がん	27.5%	87.5%	100%	目標に達しないが改善		
子宮頸がん	子宮頸がん	30.0%	87.5%	100%	目標に達しないが改善							
13		S	科学的根拠に基づく検診実施市町村の割合	青森県	[H28年度]	[R4年度]	100%	100%	100%	変化なし(目標達成)	<ul style="list-style-type: none"> 科学的根拠に基づくがん検診受診の必要性や、早期発見・早期治療について普及啓発を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 全市町村で実施されており、目標を達成していることから、モニタリングを終了してもよいものとする。

番号	項目	S P O	目標項目	出典	策定時	現状値	目標値	評価	第7次計画における 取組状況	第8次計画における 現状と課題
14	がん医療の 充実	S	がん診療連携拠点 病院充足率 (がん診療連携拠点病院 の整備された二次医療 圏の割合)	青森県	[H29年度] 83.3% (5/6圏域)	[R4年度] 83.3% (5/6圏域)	100%	変化なし(目標未達成)	・各医療圏で標準的ながん医療を受けられる医療提供体制の整備のため、全ての圏域に国指定の病院が配置されるよう助言等を実施した。	・がん診療連携拠点病院等の指定状況は、6つの医療圏のうち、西北五圏域で未整備である。 ・各医療圏で標準的ながん医療を受けられる医療提供体制の整備が必要である。
15		S	がん関係 認定看護師数 (拠点病院における がんに関する専門的知識を有する看護師数)	厚労省 拠点病院 現況報告	[H28年度] 44人	[R4年度] 58人	増加	目標達成	・がん診療連携拠点病院でのがん医療に携わる医療従事者の資質向上や人材育成の取組を支援した。	・がん診療連携拠点病院の認定看護師等の確保の取組により、がん関係認定看護師数が増加した。 ・引き続き、がん医療に携わる医療従事者の資質向上や人材育成の取組への支援が必要である。
16		S	がん診療連携拠点 病院でがん診療に 携わる医師の 緩和ケア研修 修了割合	厚労省 拠点病院 現況報告	[H28年度] 89.3%	[R3年度] 83.9%	100%	悪化	・がん診療連携拠点病院における県内のがん治療に携わる医師等を対象とした緩和ケア研修会の開催を支援した。 (R3年度研修会修了者 5病院計334名)	・がん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了割合は低下した。 ・引き続き、がん診療連携拠点病院での緩和ケア研修会開催を支援し、関係する医師等の緩和ケアの理解促進を図る必要がある。
17		S	ピアサポーター (養成研修修了者数)	青森県	[H29年度] 48人	[R4年度] 63人	増加	目標達成	・がん患者の相談体制の充実に取り組みため、ピアサポーターの養成を目的とした研修会を開催した。	・ピアサポーター数は増加しており、目標を達成している。 ・がん相談支援センターでの相談体制を充実させていくこととし、モニタリングは終了してもよいものとする。
18		S	緩和ケア体制整備 病院数 (拠点病院以外で緩和ケ ア病棟又は緩和ケア チームありの病院数)	青森県 医療機能 調査	[H28年度] 17施設	—	増加	評価困難 (出典データ未更新)	・がん診療連携拠点病院が実施する県内のがん治療に携わる医療従事者を対象とした緩和ケア研修会への参加を促進した。	・出典データが未更新で評価困難であるが、引き続き、県内の関係医療従事者に対し、緩和ケアの理解促進を図る必要がある。
19		S	緩和ケア実施 訪問看護 ステーション数 (麻薬を用いた疼痛管理 に対応している施設数)	青森県 介護サービ ス情報	[H28年度] 74施設	[R4年度] 102施設 /133施設	増加	目標達成	・在宅緩和ケアの提供体制の充実のため、がん診療連携拠点病院が実施する県内のがん治療に携わる医療従事者を対象とした緩和ケア研修会への参加を促進した。	・実施施設数は増加しており、目標を達成している。 ・引き続き、県内の関係医療従事者に対し、緩和ケアの理解促進を図る必要がある。

番号	項目	S P O	目標項目	出典	策定時	現状値	目標値	評価	第7次計画における 取組状況	第8次計画における 現状と課題
20		S	がん登録等の推進に関する法律第19条に基づき、がん情報等を利用した市町村の割合 (計画期間中に利用したことのある市町村の割合)	青森県	[H30年度] — [R1～3年度] 5.0%	[R4年度] 5.0%	100%	変化なし(目標未達成)	・チェックリスト等に基づく精度管理のほか、将来的に市町村が、がん登録データを活用して「がん検診の質の向上」に取り組むことができるよう、市町村におけるがん情報等の利用を促進するための情報提供等を実施した。	・法に基づきがん登録情報を利用した市町村の割合は目標に及んでいないが、チェックリスト等によりがん検診の精度管理を行う市町村は増加している。 ・国は、今後、市町村等におけるがん登録情報の効果的な利活用について検討するとしており、現状では本項目による効果を直接的に評価することは困難であるため、目標項目から削除する。
21		S	がん登録のDCI(DCN)、DCOの割合 ※DCI 死亡票情報で初めて登録された症例の割合 DCO 廻り調査を実施しても十分な情報が得られない症例の割合 → いずれも割合が小さいほど届出漏れが少なく、データの信頼性が高いことを意味する	青森県	[H25年] DCN 7.7% DCO 1.9%	[H30年] DCN 2.8% DCO 1.5%	5%以下 2%以下	目標達成 目標達成	・専門的な知見を踏まえたがん登録を行い、登録精度の向上に大きく寄与している。	・DCN、DCOともに改善し、目標を達成している。 ・目標を達成したことから、モニタリングを終了してよいものと考え。

【総括】

- 本県のがん検診受診率は概ね向上しており、5大がんのうち、胃がん、大腸がん、肺がん及び子宮頸がんは全国平均を上回っている。検診受診率が全国を下回る乳がんや、子宮頸がんの女性特有がんについては、特に、受診率の向上に取り組んでいく必要がある。
- 生活習慣に関する目標値は概ね悪化傾向で、がんの罹患率も悪化傾向にあることから、がんの一次予防として、運動や食生活などの生活習慣の改善や、受動喫煙を含む喫煙対策の強化に引き続き取り組む必要がある。
- 本県のがんによる死亡率は改善傾向にあるものの、全国平均を上回っていることから、がんの二次予防として、早期発見・治療のためのがん検診の促進やその精度管理の向上に引き続き取り組む必要がある。
- 本県のがん医療提供体制のさらなる充実を図るため、各保健医療圏で標準的ながん医療を受けられる体制整備や、相談支援体制の拡充に取り組む必要がある。